

平成 25 年度 西宮文化サロン

**西宮文学案内**

春期講座

2013 年 7 月 28 日 (日)

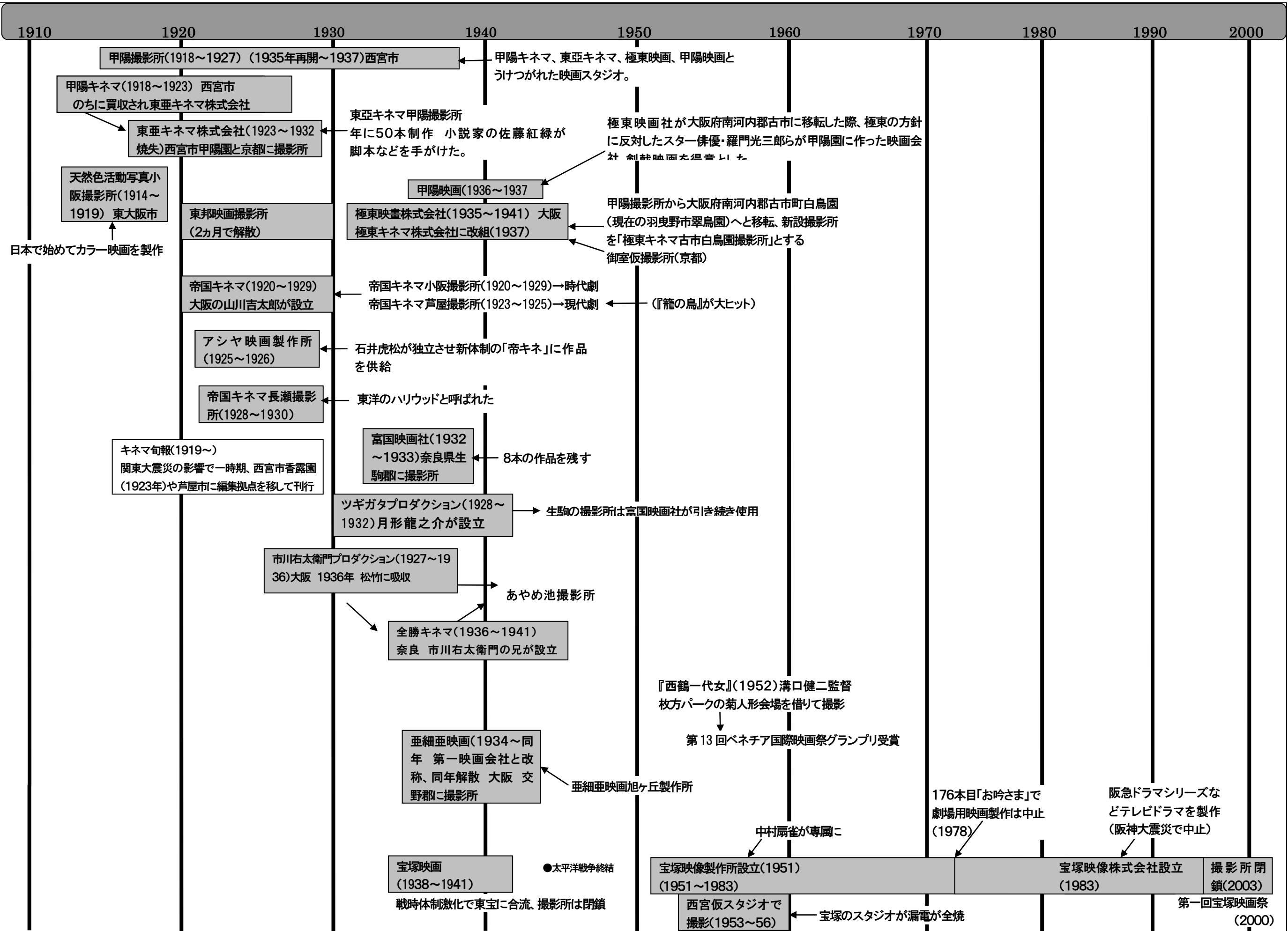
第 3 回 **西宮スタ一千一夜**

森繁久彌・森光子から芦田愛菜まで

講師 **河内厚郎** (文化プロデューサー)

**小西巧治** (西宮芦屋研究所 副所長)

# 阪神奈撮影所変遷図



# 「西宮スター千一夜」

## 1. スター千一夜について

テレビ番組『スター千一夜』は、関西テレビ（フジテレビ系列）で、1959年3月1日（フジテレビ開局当日）から1981年9月25日までに放送された、当時のスターをスタジオに招いてのトーク番組で、放送回数は6417回と1001回を遥かに超えていた。

通称は「スタ千」と言われ、第1回のゲストは、長門裕之・津川雅彦兄弟で、最終回6417回目のゲストは、美空ひばりであった。

## 2. 西宮スター千一夜

住環境に優れた西宮に、関西の芸能界で活躍するスターが住まいを求める例も多くあるが、大正時代中ごろから昭和の初期にかけて甲陽園に、戦後にも一時期、西宮北口に映画の撮影所があった。

また、今津山中町には録音スタジオも持ったメジャー・レーベルのレコード会社もあり、市内にはスター達が闊歩していた。

宝塚市には来年、100周年を迎える宝塚歌劇団もあるため、ツカスターや演出家が西宮に住むケースも少なからずあり、西宮はスターの町と言える側面を持っている。

## 3. 西宮で活躍した大物スター達

日本の喜劇王と呼ばれた、エノケンこと榎本健一が映画デビューしたのが、甲陽園にあった東亜キネマであった。

大衆芸能演劇者として、文化勲章と国民栄誉賞を授与された森繁久彌も森光子も西宮に住んでいた時代があり、ここで芸能活動をしていた時期があった。

森光子が、歌手を目指して初めてレコーディングしたのも西宮である。2009年に歌舞伎役者の夫の坂田藤十郎が文化勲章を、2010年には妻の扇千景が女性初の桐花大綬章を授与されたが、二人の馴れ初めは、西宮北口の撮影所だった。

昭和中期には歌手島倉千代子が西宮に住んだし、平成になってからは、桜田淳子も住んでいる。笑福亭鶴瓶をはじめ落語家も多く、かつては関西歌舞伎の幹部俳優も住んだ。

このように一昔前から現在に至るまで、多くのスター達との縁がある西宮であるが、最近では藤原紀香や名子役の芦田愛菜を生んでいる。

西宮で中学・高校時代を過ごした常盤貴子は、西宮ゆかりの重要人物を演じている。一人は、テレビ朝日（朝日放送）開局45周年記念ドラマ「流転の王妃・最後の皇弟 愛の物語」で愛新覚羅浩役を、もう一人はNHKのテレビドラマ「神様の女房」で松下幸之助の妻むめの役を演じたことである。

